

Face to Face

今も心^に灯り続ける

お客さまからいただいた ひとこと

地域に寄り添い、地域の発展に尽くすこと。

それが私たち信用金庫の使命です。

私たちもまた、たくさんのお客さまに支えられて

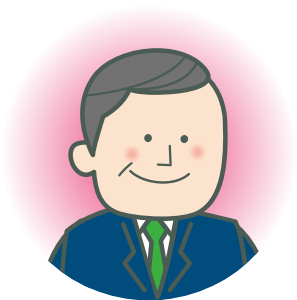
これまで歩み続けてきました。

私たち、しんきん職員の“心の糧”としてずっと灯り続けている
お客さまからいただいた「ありがとう」「忘れられない一言」を心を込めてご紹介します。



この街と生きていく

SHINKIN 信用金庫



#1 群馬県の信用金庫 営業担当 A介さん

最高のつぶやき

「夢みてえだな……。」

何気なく聞こえたお客さまの独り言が、どんなに私を勇気付けてくれたか分かりません。

今から20年以上前、駆け出しの営業担当だった私は、食堂を営むお客さまの担当でした。お客さまの店は築50年以上のテナントで、店舗の2階部分が住居。店内はカウンターに4席と2人掛けのテーブルが2卓あるだけの小さな店ですが、ソースカツ丼が評判で、調理と出前を受け持つお客さまのお昼時の忙しさは、見ている方の目が回りそうなほどでした。

その後、テナントが道路拡張のため取り壊されることになり、お客さまの店舗併用住宅計画を私もお手伝いさせていただきました。そうし

てお客さまは念願の新築を手に入れたのです。開店日の朝、様子を見に行った私がお邪魔したのはピカピカの厨房。その時お客さまが人知れず「夢みてえだな」とつぶやいたのを偶然耳にしたあの時の感動は忘れられません。

私に気がつき、満面の笑顔になったお客さまの表情は、私にとって信用金庫という職業の素晴らしさを実感させてくださいました。この出来事は、今でも仕事へ取り組む際の、『心の糧』となっています。



#2 神奈川県信用金庫 営業担当 B太さん

お客さまとの信頼関係

私は、入庫4年目の地区担当営業係として勤務し、毎月約200世帯の定例訪問先を担当しています。業務の中で感謝の言葉をいただいたエピソードについて紹介します。

近年、お客さまは、低金利による影響で、金利よりもより良いサービスを求めているように感じます。私の定例訪問先で、長年複数の金融機関とお付き合いのあるお客さまがいらっしゃいます。

世間話が好きで、よく金融以外の話をされます。そのお客さまから、ご主人の退職金について、ご相談がありました。他行にも同様の相談をしているとのことで、他行の商品は、当庫よりも利率が良く、成約には難しい状況でした。

しかし、お客さまは当庫を選んでくださいました。お客さまから、「あなたと話をしていると楽しい。あなたは、約束を守ってくれるから安心して預けられる。」と言葉をいただきました。入庫して1年目で初めてのいただいた感謝の言葉だったのでとても印象深く残っています。

営業係は、業務を遂行するだけでなく、お客さまの気持ちをくみ取り、行動することが、信頼に繋がると実感しました。これからも、お客さまとの信頼関係を築くことを大切にしていきたいです。





#3 新潟県の信用金庫 営業担当 C昌さん

お客さまからもらったエール

人事異動が発令され、飲食店経営者の方に挨拶に伺った際にかけてくれた言葉。

「他の金融機関と同じ頻度だったけど、信金さんとはとても中身の濃い時間を過ごした様と思う。それは君が俺や事業に対してたくさん情熱をかけてくれたから。おかげで事業の悩みは一番相談し易かった。課題を一つ振ったら、三つ四つと返ってくる提案にはとても刺激を受けたし、どれも興味深かった。知識や資格、スキルだなんだと言われているけど、俺らお客に興味を持って行動してくれる熱意、『情熱』っていうスキルは誰しも備えていない。信金さんはみんながそこに長けているからありがたがられるよ。転職しても持ち味は変わらないでね。」と、

別れの挨拶でこんなに多くのエールをいただけたとは思っていませんでした。今まで金融機関職員として、様々なことを意識し行動していましたが、お客さまに響いていたのは信用金庫らしい情熱だったようです。この言葉を励みに頑張りたいと思います。



#4 千葉県の信用金庫 営業担当 D吾さん

私を覚えていてくれた お客さまへのお手伝い

それは5年ぶりの電話でした。「覚えていますか?」、思い出せない私…。

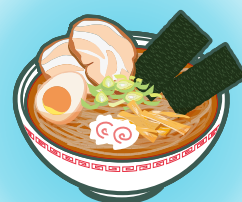
「お久しぶりです、休業が終わりました。D吾さんにしか声が掛けられなくて、自分の店を持ちたいので、話を聞いてもらえませんか?」「アッ」と衝撃を受け、思い出した私。

取引先担当者の時に、とても美味しく、昼時には行列が出来ていたラーメン店、当時、小さな賃貸店舗で「自己所有店舗を持つてはどうですか?」と、肩を叩き背中を押した、あのお客さまでした。

久しぶりの電話に心たかぶる私。電話を切るなり不動産業者から物件情報を収集し、融資相談は最寄りの営業店を紹介しました。

新店舗も昼時は行列が出来ている。オープン時に出されたのは、温かいラーメンと「やっと自分の店が持てました。ありがとうございました。」の感謝の言葉。

逆に「私を覚えていてくださり、ありがとうございます。」と心から感謝の言葉をお客さまにお伝えしました。





#5 新潟県の信用金庫 営業担当 E次さん

学生さんからのありがとう

「ちょっとご相談したいことが…」夕方電話をとった私に女性は少し申し訳なさそうに話されました。「子供の教育資金で融資をお願いしたいのですが。」と教育資金のご相談でした。お伺いし、お話を聞いてみると、調理の専門学校に通う最終学年のお嬢さんの学校納付金が不足しているとの事でした。

以前融資を断られたことがあり、相談に後ろめたい気持ちがあったそうです。申込の場面ではお嬢さんも同席されて、授業の内容や調理の勉強も兼ねて飲食店でアルバイトをしているお話を聞きました。ご融資は再審査が必要な案件でしたが、無事実行までこぎ着け学校納付金を支払うことが出来ました。

後日、休日に市内のレストランに行った際、あのお嬢さん

がたまたま働いていて「先日はありがとうございました。おかげで勉強が続けられます。」と声を掛けていただきました。

私達のご融資が将来の夢に向かって勉強に励まれる学生さんの役に立てたことを実感しました。



#6 群馬県の信用金庫 営業担当 F雄さん

営業活動の基本となった出来事

「あなただから取引を始めた。」取引を始めてくれた社長さんから言われた一言、とても嬉しい言葉でした。

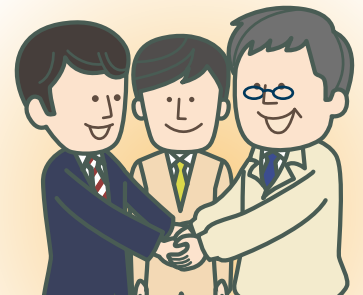
当時担当していた地区は当金庫を知っているお客さまも少なく、新規開拓に苦戦していました。

ある会社へ半年間ほど訪問していた頃、何気ない会話の中から、同地区内にある別の会社とビジネスマッチングをすることになり、自分の活動によって地元の企業が盛り上がる一助になりたいという気持ちから、出来る限りの対応をさせていただきました。

結果、ビジネスマッチングは成功し、すぐに社長さんから取引を始めたいとの言葉をいただきました。

後々聞いてみると、「実はあの時のマッチングは割

に合う仕事じゃなかったけど、あなたが一生懸命だから損得無しに仕事を引き受けたんだよ。あそこまでしてくれた人はいなかったから。」と笑いながら話をしてくれた社長さんとは、私が転勤した今でも良好な関係を続けています。



＼“しんきん 地元の魅力”で検索！／



一般社団法人 関東信用金庫協会
東京都中央区京橋3-8-1 信用金庫会館京橋別館11F
TEL: 03-5524-5671

